☆目指す子ども像
〇がんばる子
〇やさしい子
〇元気な子

わくわく・ドキン！

3・4・30 No. 2
池内幼稚園

目指す子ども像！

明日から風薫る五月がスタートします。新年度が始まって１ヶ月が経ち、子どもたちも少しずつ新しいクラスに慣れて、落ち着いて生活しています。
本園では、**目指す子ども像**を目標に、日々の保育に取り組んでいます。「幼児期までに育って欲しい１０の力」と関連付けてお伝えします。

〇 がんばる子(知)
〇自立心　〇思考力の芽生え
〇数量・図形、文字への関心・感覚
・途中であきらめず、最後まで粘り強く取り組む。
・身近な物事に自分から進んで関わり、考えたり工夫したりしながら自分の考えをしっかり持つ。
・遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字等に興味や関心を持つ。

〇 やさしい子(徳)
〇協同性 〇社会生活との関わり
〇道徳性•規範意識の芽生え
〇言葉による伝え合い 〇豊かな感性と表現
〇自然との関わり・生命尊重
・友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。
・地域の人や、自分の身の回りの人に関心を持ち、親しみをもって挨拶したり話したりする。
・生活の中で、美しいものや心を動かす出来事に触れて、感性を豊かにする。
・身近な自然に触れて、動植物に関心を持つと共に、命を大切にしようとする。

〇 元気な子(体)
〇健康な心と体
・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

幼児教育は、「環境による教育」と言われます。知識や技術を一方的に教え込むのではなく、「**遊び**」を通して、子ども自身の興味や関心を大切に育てる中で、豊かな「**学び**」につなげていくものです。本園でも「**遊び**」＝「**学び**」の視点を大切にして、日々の保育の充実を図っています。その様子をＨＰや**ドキュメンテーション**や**園・クラス便り**等を通してお伝えしていきます。

資源回収のお願い！

本園では「資源回収」を行っています。収益金は、子ども達の遊び道具の購入や保育環境の整備等に活用させていただきます。今年度もPTA会員や地域の皆様に御協力いただければ大変ありがたく思います。どうかよろしくお願いします。搬入については、下記の点に御協力ください。

＜回収品＞新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック
※できれば、新聞と広告は別にして、紐でくくってお出し下さい。
アルミ缶（中をよくすすいでお出しください。）

＜回収場所＞
〇園舎の「つくし組下の車庫」に入れて下さい。園で分別してコンテナに入れますので直接コンテナに入れないでください。

〇休日で車庫が閉まっている場合は、シャッター前に置いてください。

園医先生のお知らせ・・・お世話になります！
〇荒木クリニック 荒木義正 先生
〇小瀬木歯科医院 小瀬木良和 先生

５月の主な予定をお知らせします。

5月の主な予定

３（月）憲法記念日
４（火）みどりの日
５（水）子どもの日
１２（水）さつま芋差し（年長）＊参観は無し
１３（木）さつま芋差し（予備日）
１４（金）うめ組遠足（五老が岳）
１７（月）さくら遠足（五老が岳）
１８（火）歯科検診（年少以上）13:00
２０（木）５月誕生会 10:30
２１（金）年中遠足（グリーンスポーツセンター）
２４（月）年少遠足（舞鶴公園）
２５（火）コロコロ広場（未就園児事業）10:00
２７（木）内科検診（年少以上）13:30

「相談窓口」のお知らせ

お子さんのことで、御心配なことや園への御要望等があれば、お気軽にご相談ください。

☆担当者
・主任（小村谷）が担当します。
☆時間　９：００～１８：００

心ときめく わくわくコーナー

「王山」←「草山」に！

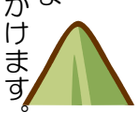
＊昨年、園庭の緑を増やす取組として、土山に草を植えて「草山」にしましたが、冬になり草が枯れて再び元の「王山」に逆戻りしました。季節が暖かい春になり、草も息を吹き返しました。そこで再び園庭の草を移植して、「草山」に変身させようと試みています。主に、クローバーやヨモギ等の野草です。草が生えると、虫が集まってきます。子ども達は網を持って虫探しに夢中になります。

昨年の草山

朝、少しずつ草を移植していると、「何してるん？」と子どもたちが声を掛けてきます。理由を話すと、「手伝うわ！」と言って、自分からスコップで土を掘ったり被せたり、水やりの手伝いもしてくれます。
地球温暖化等の地球的規模の環境問題も、このように身近な体験が元になって、「我が事」として考えられるのではないかと思います。遊びを通して、身近な自然と触れ合う体験を積んでいきたいと考えています。

春の遠足へ！

＊若葉が目に優しい季節となりました。子ども達は、春の遠足に出かけます。年長組は、「五老が岳」に登ります。さて、なぜ『五老岳』という名前がついたのか？鎌倉時代に書かれた『沙石集』という仏教説話集の中に登場する、五郎という人物に由来すると言われています。もとは鎌倉の御家人だった五郎が丹後に移り住み、水軍を作った際、湾の見張り場所であった五老岳が『五郎』の名で呼ばれ、後に『五老』へと変化したと伝えられています。



地名や建物の由来を調べると、地域の歴史が分かり、先人の願いや思いに触れ、故郷を愛する心が芽生えます。